



「笑顔とつながり」

永田台

サステイナブルスクール

No.537 10月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和2年9月30日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

ウサギとカメ

副校長 中村 宏

以前の朝会で『ウサギとカメ』の話をしました。ウサギとカメのお話は、誰もが知っている有名なお話ですので、説明は省略します。

この『ウサギとカメ』の話には続きがあるそうです。

カメに負けたウサギは、恥を忍んでリベンジを申し込み、カメはこの申し出を受け入れます。休まずにゴールを目指して走ったウサギは当然カメに勝利しました。カメは負けてしまいましたが、にこにこして満面の笑みでゴールしました。それは、負けたけれど1回目よりも2回目の方が早くゴールできたからです。ウサギは自分の失敗や過ちを次に生かすことができ、カメは自分のことをしっかり振り返り、成長を実感することができたと言えるのではないのでしょうか。また、ウサギもカメもこれまでの自分を乗り越え、心も身体も一回り成長したと言えるでしょう。



その後、ウサギとカメは仲よく旅に出ました。川や海では、カメの甲羅の上にウサギが乗り、陸では、ウサギがカメをおんぶして有意義に旅を楽しみました。ウサギもカメも同じ目的に向かって歩みながら、各々の個性や得意分野を生かし、協働することで課題を解決していったと言えるでしょう。

子どもたちの中にも、あつという間に課題をクリアするウサギのような子がいます。カメのように時間をかけてこつこつと取り組む子もいます。学校では、日々の授業に力を入れているだけでなく、それぞれの子どもに合わせた支援や指導にも力を入れています。担任による丁寧な支援・指導はもちろん、算数の少人数指導、パワーアップ授業、国際教室等がこれに当たり、学校教育目標『一人一人が輝く永田台』の実現に向けて、一人一人の子どもを大切にしたい教育活動を進めています。



今、永田台小学校の校庭では、来週に迫った運動会に向けて、熱心に練習をする子ども姿が見られます。徒競走やリレーでは勝利のために、ダンスでは美しい演技を披露するために、ひかり輝く様々な個性をもった一人一人の子どもが、各々努力を重ねています。運動会までの練習や当日の活動を通して、今までの自分を乗り越え、心も身体も一回り成長してほしいと願っています。と同時に、ともに競い合うことでお互いを高め合ったり、目標に向かって仲間と協働したり、そんな経験をしてほしいと願っています。

今年度は、コロナ禍での運動会ということで、午前中のみ開催そして保護者1名の観覧に限定させていただいておりますが、子どもたちの輝く姿を是非ご覧になってください。